

冠動脈および下肢動脈の造影 CT における分割注入法の有用性についての検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

心臓や足の血管を詳しく調べるために、造影剤を使った CT 検査が行われます。この検査では、造影剤という薬を体に注入することで、血管の様子をよりはっきりと映し出すことができます。

これまで当院では、心臓と足の血管を同時に撮影する際に、造影剤を 2 回に分けて続けて注入する「二段階注入法」という方法を使ってきました。しかしこの方法では、心臓を撮影するタイミングでも足の血管用の造影剤が体内に残っているため、アーチファクト(画像のゆがみ)が出てしまうことがありました。

そこで造影剤の注入を一度中断し、体にやさしい生理食塩水で押し流してから、時間をおいて再び造影剤を注入する「分割注入法」という新しい方法を導入しました。この方法により、心臓の画像がよりクリアになり、診断の精度が下がってしまうリスクが少なくなることが期待されています。

本研究では、これまでの方法(二段階注入法)と新しい方法(分割注入法)を比較し、新しい方法の有用性を確認することを目的としています。

この研究は、すでに行われた検査の画像や記録を使って行うもので、患者さんに新たな負担がかかることはありません。また、個人が特定される情報は一切使用せず、研究結果は統計的に処理されます。

研究の対象となる方

2015 年 1 月～2025 年 5 月に当院で冠動脈および下肢動脈の造影 CT を撮影された方

使用する試料・情報

CT 画像

使用開始予定日：2025 年 7 月 27 日

研究予定期間

2025 年 7 月 27 日～2025 年 10 月 31 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 中央放射線部 大石早姫

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 中央放射線部 大石早姫（研究責任者）

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)